

Tsumoo

詳細設計書 目次（公開用）

フェーズ1 MVP / 制作中

項目	内容
製品名	Tsumoo
読み方	つもー
文書種別	詳細設計書 目次（公開用）
対象フェーズ	フェーズ1 MVP
公開用途	詳細設計で扱っている範囲を示すため
最終更新	2026年6月5日

公開用資料について

本資料は、Tsumoo の開発用詳細設計書群をもとに、外部公開に適した範囲へ抜粋・再構成した圧縮版です。

実際の開発用資料には、より詳細な画面仕様、API仕様、データ構造、実装方針、内部向けメモを含みますが、本資料では詳細設計で扱っている範囲が伝わるよう、目次形式に整理しています。

目次

章	内容	頁
1	公開範囲	4
2	画面詳細設計	4
2.1	対象画面	4
2.2	画面ごとの記載観点	4
2.3	共通設計	5
3	API設計	6
3.1	記載範囲	6
3.2	主な設計判断	6
4	DB設計	6
4.1	記載範囲	6
4.2	主な設計判断	6
5	実装設計	7
5.1	Next.js 実装設計	7
5.2	Laravel 実装設計	7
6	開発環境設計	7

1. 公開範囲

本資料は、Tsumoo の詳細設計で扱っている範囲を目次として公開するための資料である。

詳細な API 仕様、データ構造の詳細、認証・セキュリティ実装の細部、内部向けメモは本資料では公開しない。

2. 画面詳細設計

2.1 対象画面

画面ID	画面名
PUB-001	公開トップページ
AUTH-001	ユーザー登録
AUTH-002	ログイン
AUTH-003	登録確認メール送信完了
AUTH-004	登録完了
AUTH-005	パスワードリセット申請
AUTH-006	パスワード再設定
AUTH-007	パスワード再設定完了
APP-001	ダッシュボード
APP-002	ToDo登録
APP-003	ToDo一括登録
APP-004	ToDo編集
APP-005	振り返り
APP-006	設定

2.2 画面ごとの記載観点

- 画面の目的
- 主役となる情報 / 操作
- 表示要素
- 操作
- 遷移
- 状態別表示
- スマホでの見せ方
- PCでの見せ方

- 採用モックから反映した仕様

2.3 共通設計

- 認証後共通レイアウト
- 共通モーダル
- 削除確認
- 退会確認
- 画面上で扱わない要素
- 未決事項の管理

3. API設計

3.1 記載範囲

- API全体方針
- 認証・認可の設計方針
- アカウント関連 API
- ToDo 関連 API
- 振り返り関連 API
- 共通レスポンス方針
- フロントエンド / バックエンドの責務分離

3.2 主な設計判断

- API は画面構成と責務を分けて設計する
- 認証連携は安全性を考慮した方式で設計する
- 利用開始前のユーザーに対して、認証後機能を表示しない
- 画面専用の API を増やしすぎず、用途ごとの責務を整理する
- 表示ラベルとデータ値の責務を分ける
- 達成率は対象 ToDo 数が0件の場合に未算出として扱う

4. DB設計

4.1 記載範囲

- 前提と設計方針
- 命名方針
- アカウント情報の扱い方針
- テーブル構成の整理
- アカウント系データ設計
- ToDo系データ設計
- 集計方針
- 削除方針
- 制約と検索効率の方針
- フェーズ1で持たないデータ

4.2 主な設計判断

- アカウント情報と補助情報を分けて扱う
- ToDo はフェーズ1の範囲に合わせ、過度に複雑化しない
- 今日の達成状況は完了日を基準に集計する
- 直近7日間の振り返りは、日別の完了件数を中心に扱う
- フェーズ1では個人情報を極力持たない

5. 実装設計

5.1 Next.js 実装設計

- App Router 方針
- ディレクトリ構成
- API通信方針
- ログイン状態管理方針
- フォーム / データ取得方針
- 型定義 / 表示ラベル方針
- フィードバック / テスト方針

5.2 Laravel 実装設計

- ディレクトリ構成
- 認証まわりの実装方針
- API実装方針
- バリデーション方針
- サービス / アクション分割方針
- テスト方針

6. 開発環境設計

- ローカル開発環境方針
- Docker 構成
- フロントエンド / バックエンド / DB の起動方針
- 開発時の確認手順
- フェーズ1 MVP の公開に向けた環境整理